

■平成 24 年 6 月 25 日号 (第 1308 号)

【主な記事】

- ・室井政務官 伊万里、佐世保、長崎港視察＝日本海側拠点港、港湾施策で意見交換
- ・港湾局 技術省令一部改正、津波対策強化＝防波堤の性能要求打ち出し
- ・港湾局 公共入札の見直し作業＝二極分岐点、海上技術等視点も
- ・港湾局 環境整備事業は一部改善＝公開プロセスで判断示す
- ・東北地整 震災ガレキ等有効活用＝技術提案の募集開始
- ・釧路港 新西防波堤の延伸を促進＝西港区、今年度に 20 函据付け
- ・七尾港 大田東地区ふ頭用地整備＝石川県、埋立地盤対策も検討
- ・東京都 元町港・波浮港整備＝ケーソン据付と製作
- ・舞鶴港 前島地区潜堤を促進中＝マイナス 9m 泊地浚渫の受皿
- ・中部国際空港 期待高まる第 2 滑走路＝海上空港の特性を P R
- ・広島港海岸 吉島地区護岸等促進＝船越、矢野地区も検討
- ・名古屋港 鍋田ふ頭で泊地浚渫＝東航路の浚渫・排送
- ・沿岸センター 23 年度下期民間技術評価証交付＝N D R 工法（五洋）、頑丈土破砕材（沖縄電力、日本国土開発）
- ・五洋建設 大型自航式起重機船竣工＝近海の港湾工事をカバー
- ・三井住友建設 深層混合処理工法＝変異抑制効果を確認
- ・土木学会 小野新会長が会見＝支部活動の活性化等
- ・エネ庁 佐渡沖で大型油田有望＝来年度に試掘調査へ

■平成 24 年 6 月 18 日号 (第 1307 号)

【主な記事】

- ・防災部会答申 港湾の地震・津波対策＝島国日本の生命線を維持
- ・吉田副大臣 港湾 B C P を全国で＝早期具体化を指示
- ・国交省人事 6 月 15 日付 技術参事官に難波氏＝九州副局長に山本氏
- ・プロジェクト X 24 年度施行事業の概要＝双務性向上等
- ・J I C A 研修員 港湾視察や受講＝今年度 19 名受入れ
- ・苫小牧港 商港 9m 岸壁改良・耐震＝室蘭開建、鋼管矢板等の本体工
- ・敦賀港海岸 赤崎地区で突堤本体＝縄間は離岸堤基礎工
- ・東京港 3 バース目の基本設計＝品川内貿岸壁整備
- ・大阪港 国際コンテナ戦略港施策推進＝マイナス 16m 航路、Y C バース
- ・高松港 マイナス 12m 航路・泊地浚渫＝来年度着手へ諸準備
- ・苅田港 新松山地区岸壁築造＝本港地区航路浚渫等
- ・室津港 ケーソン 2 函据付等＝W T O 対応で実施

- ・日・ロ会合 港湾分野も活発議論＝極東港湾の利用促進等
- ・土木学会 第98回定時総会＝小野会長が就任、活動の原点は現場
- ・港技コンサル 一般社団第1回定期総会開催＝協会活動の充実目指す
- ・佐賀県 海洋エネ実証フィールド＝候補地の選定作業へ
- ・環境省 閉鎖性海域実証試験＝貝殻利用、電着基盤技術
- ・日アセアン 港湾保安専門家会合＝保安向上行動計画

■平成24年6月11日号（第1306号）

【主な記事】

- ・羽田国交相就任会見 港湾、空港の役割強調＝戦略港湾等施策を推進
- ・国際コンテナ 阪神港の運営計画議論＝戦略検討委第10回会合、9月にも会社指定
- ・リサイクルポート協 東日本大震災廃棄物処理に全力＝24年度総会、国際循環資源も
- ・リサイクルポート協 災廃物を広域処理＝知見活かし提言書
- ・北東アジア港湾局長会議 課長級会合開催＝今年10月、北海道で
- ・仙台塩釜港 中野地区14m岸壁に着工＝新工法、アーク矢板ジャケット
- ・大船渡港 海岸復旧の詳細設計＝鋼管矢板で防潮堤整備
- ・網走開建 物揚場や泊地浚渫など＝直轄特定漁港能取地区
- ・千葉県 市川市と協議し方向性＝三番瀬、干潟的環境形成試験
- ・那覇港 臨港道路「若狭港町線」＝地港審計画了承、橋梁方式で延長2.2km
- ・水島港 マイナス14m専用2バース＝一部変更計画了承、国際バルクが前進
- ・志布志港 企業と合意形成協議中＝国際バルク戦略港湾
- ・北九州港 新門司航路の増深＝約20万m³をWTOで
- ・中部地整ら 四日市港で防災訓練＝木曾三川連合演習、岸壁点検や航路啓開
- ・港湾PC研究会 第24回定時総会開催＝活用分野の拡大目指す
- ・中電・浜岡原発 津波対策、防波壁工事が進展

■平成24年6月4日号（第1305号）

【主な記事】

- ・国交省港湾局 コンビナート港湾の防災＝第1回会合、関係機関が総合検討
- ・国土交通省 次期社会整備重点計画＝大規模災害リスク低減
- ・国土交通省 ブラジルと覚書調印＝海洋開発分野で協力
- ・港湾懇談会 第2回会合＝委員がプレゼン
- ・バヌアツで港湾協力＝ポートビラ港、円借款供与へ
- ・日本港湾協会 瀬戸内海と地域づくり＝パネルディスカッション

- ・秋田港 外港・飯島地区で防波堤＝直轄事業、陸上土捨場整備も着手
- ・伏富港 新湊大橋揺れ対策審議＝検討委、導流板やダンパー
- ・鹿島港 再生エネ区域を設定＝地港審で変更案了承
- ・千葉港 中央H岸壁を要求へ＝直轄で延伸と耐震化
- ・徳山下松港 7月に長期構想検討委＝国際戦略バルク施策等も反映
- ・水島港 地港審で一部変更＝国際バルク港に対応
- ・鹿児島港 今年度中に主要工事＝新港区改良事業、WTOで岸壁築造
- ・海洋政策本部 再生可能エネで取組方針＝来年度に実証フィールド
- ・海洋基計 今秋メドに見直し作業＝海底資源開発等重点

■平成24年5月28日号（第1304号）

【主な記事】

- ・国際バルク港 事業化への制度設計検討＝関係省と協議連携も予定
- ・港湾協会 第84回通常総会開催＝国際競争力強化を支援
- ・港湾局 25年度概算要求作り＝戦略港、防災強化等柱に
- ・減少する浚渫・埋立土＝埋浚協調べ、23年度は前期比83%
- ・横浜港臨港道路 橋梁と高架橋下部に着工＝政府調達で3件発注
- ・東北地整 アマモ場再生へ調査＝松島湾海域環境検討会
- ・茨城港 新たな廃棄物処分場＝常陸那珂港区、27年度から護岸工
- ・函館港 弁天地区改良を促進＝北ふ頭耐震岸壁も着工
- ・水島港 臨港道路下部工事進捗＝渡河部で今年度10基追加
- ・長崎港小ヶ倉柳 岸壁上部やふ頭埋立＝今年度暫定供用へ
- ・三河港 神野西ふ頭7号岸等＝振興会が25年度要望
- ・23年度土木学会賞発表＝作品賞に東京ゲートブリッジ等
- ・埋浚協 第51回通常総会開催＝震災復旧・復興に全力
- ・技術同友会 大規模システム安全設計で提言＝レベルを超える事象の想定を
- ・海産研 海洋基計への提言まとめ＝海洋発電実験場の確保等
- ・OCDI 港湾分野の国際協力＝第4回会合、技術分野の役割等

■平成24年5月21日号（第1303号）

【主な記事】

- ・滑走路増設 那覇空港：今夏概算要求へ準備、福岡空港：アセス関連作業開始
- ・福岡空港 国内線ターミナル再編事業へ＝エプロン誘導路二重化、ビルの新・改築
- ・外貿コンテナ取扱量 過去最高の1751万TEU＝前年比3.9%増に
- ・青森港 基礎工とケーソン据付工＝油川地区、第1防波堤を延伸整備
- ・石川県 浚渫砂の試験投入へ＝千里浜海岸再生プロ

- ・岩船港 鋼矢板の泊地護岸工＝新潟県、国内物流ターミナル整備
- ・女川港 防波堤の復旧工事着手＝宮城県、その1でケーソン製作
- ・四国地整 主要5港で液状化予測＝大規模災害に備え対策
- ・広島港 廿日市地区、航路・泊地増深事業＝今年度に関連調査等実施
- ・撫養港海岸 堤体下部の地盤改良等＝地震・津波対策を促進
- ・北九州港 新門司沖土砂処分場＝今秋にもアセス方法書
- ・新日鐵 カルシア改質土、大規模埋立事業実施＝浚土利用し急速施工実現
- ・海技協 第26回通常総会開催＝技術者評価の拡充等
- ・関西空港 減収増益決算に＝LCC等利便強化

■平成24年5月14日号（第1302号）

【主な記事】

- ・港湾分科会防災部会開催 港湾の総合的津波対策＝最終答申案、災害対応力の強化等
- ・港空研、ノルウェーと研究協力＝底質環境や浮体風力等再生エネ
- ・国交省港湾局 24年度プロジェクトX＝全国95件で試行
- ・沿岸センター関田理事長 海洋分野に積極取組＝伝統守り発展へ
- ・室井政務官 日韓でクルーズ振興＝トップセールス訪問
- ・姫川港 泊地護岸本体の製作据付＝西ふ頭国内物流ターミナル
- ・八戸港 1期護岸に工事着手＝直轄土砂処分場整備
- ・秋田港 防波堤延伸が完了へ＝今後はマリーナ港口も
- ・中城湾港泡瀬地区 護岸工等に着手へ＝今年度は仮設航路浚渫
- ・竹富南航路 今年度から浚渫開始＝環境保全対策を採用
- ・北九州市 災害廃棄物受入検討作業に＝石巻港から海上輸送
- ・フェニックス 災廃物受入検討＝受入手法等研究
- ・国交省港湾局 遠隔離島港整備に107億円＝南鳥島、沖ノ鳥島、岸壁、泊地等促進
- ・中部地整 シー&エア輸送を促進＝今年度に検討会予定
- ・港整備交付金 24年度新規に3計画＝地方港と漁港の連携
- ・日港連 第29回通常総会開催＝安心、安全の備え大事
- ・ITF シームレス交通等＝吉田副大臣が提言
- ・日印閣僚級対話 港湾整備で意見交換＝奥田副大臣ら面談

■平成24年4月30日・5月7日号（第1301号）

【主な記事】

- ・国交省港湾局 産業港湾、防災港湾を売込み＝メコン地域等、物流機能強化に協力
- ・SCOPE矢代理事長 港空のインフラ支援＝国内外で展開へ
- ・春の叙勲 瑞中に稲垣、森平氏、瑞小に新井、阪本氏

- ・港湾局長を表敬訪問＝エルサルバドル・アレナ総裁ら
- ・大陸棚延長の設定＝新たに約 31 万 km²
- ・あおみ建設 社長に藤野氏就任＝更生手続き終結
- ・八戸港 政府調達でケーソン製作＝災害復旧、八太郎地区北防波堤
- ・北海道 空港経営改革へ提案＝関係者で協議の場設置
- ・福井港海岸 離岸堤を第 4 四半期に＝侵食対策、5 基目の残り整備
- ・東京港 ジャケット工を 2 件＝中防外側国際海上ターミナル
- ・平良港 漲水地区一貫輸送ターミナル整備＝24 年度新規、耐震改良延長 220m
- ・堺泉北港 基幹的防災拠点、供用式典を開催＝京阪神の安全安心に寄与
- ・大分港 マイナス 7.5m B を耐震改良＝西大分地区、今年度調査、設計
- ・堺泉北港助松地区 W T O で航路浚渫＝マイナス 14m 岸壁に対応
- ・O P R F 北極航路施策を提言＝政策指令塔設置等 9 項目
- ・国交省 次期重点計画で素案＝社整審交政審、リスク増への対応等
- ・洋上風力 浮体式の技術基準＝50 年発生確率対応、強度や腐食対策
- ・地盤工学会 東日本大震災シンポ＝複合的津波対策検討中
- ・環境省 第 4 次環境基計策定＝干潟・藻場、底質改善等

■平成 24 年 4 月 23 日号 (第 1300 号)

【主な記事】

- ・重要港湾管理者主幹課長会議 25 年度要求への取組等＝戦略港湾、防災機能強化
- ・国交省 山縣港湾局長記者懇談会＝震災復興・海外展開
- ・福田参事官 大震災の影響＝臨海部空洞化懸念
- ・港湾局 24 年度全国港別予算③＝関東、北陸地方整備局
- ・金沢港 航路浚渫と西防波堤改良＝大野地区、国際物流ターミナル整備
- ・鹿島港 中央防波堤付帯工事＝航路沿いで潜堤整備
- ・横須賀港 浅海域の保全・再生＝6 月にも研究会設置
- ・横須賀市 大津・野比地区など＝24 年度港湾海岸事業
- ・高知港空事務所 高知港等で防波堤を促進＝全国防災、前年度比 3.5 倍の 77 億円
- ・徳山下松港 W T O で護岸築造工追加＝新南陽処分場、H C 10 函の製作・据付
- ・浜田港 臨港道路の調査・測量＝福井 4 号線、新規着手で設計等
- ・大阪港 中央航路の増深・拡幅＝今年度も追加実施検討
- ・港湾・空港事業 23 年度受注実績、東亜、東洋が上位並ぶ＝舗装、鉄鋼は減少傾向に
- ・港と文化 バルト海・北海の港＝国家形成に大きな影響
- ・新エネ財団 風力等の促進策低減＝大型風車やコスト低減を
- ・国交省 田中総括官が会見＝災害に強い物流システムを

■平成 24 年 4 月 16 日号 (第 1299 号)

【主な記事】

- ・国交省港湾局 クルーズ分野の取組強化＝ソフト・ハードで寄港促進
- ・環日本海クルーズ 推進協議会設立＝小樽・伏富・舞鶴港
- ・国交省 新入札・契約方式検討＝東日本大震災、復興事業に適用
- ・港湾局 24 年度全国港別予算②＝北開局、東北地整局など
- ・横浜港 地盤改良とケーソン工事＝南本牧、第 5 ブロック最終処分場
- ・苫小牧港 取付部の早期整備も＝弁天地区、マイナス 12m 岸壁
- ・函館空港 道路トンネル耐震補強＝工法選定、せん断補強鉄筋挿入など
- ・衣浦港 ポーアイ活用し機能強化＝港湾計画改訂作業、バルク貨物需要対応
- ・細島港 南沖防波堤を促進へ＝半没水型上部斜面堤、3 函の製作追加
- ・徳島小松島港 沖洲 (外) 地区で岸壁築造＝複合一環輸送 T、泊地浚渫も今後追加
- ・四国地整 ふ頭で液状化調査＝大規模地震への備え急ぐ
- ・高松港 観音寺から搬出へ＝備讃航路浚渫仮置土、朝日地区の埋立
- ・国交省 鍋田ふ頭第 3 バース完成＝供用式典開催、更なる発展に期待
- ・国交省 地球温暖化対策中間報告＝港湾分野、温室効果ガス削減等
- ・北海局 国土審第 1 回道部会開催＝第 7 期総合計画、今後の重点施策等
- ・投稿 デフレ脱却の処方箋＝インフラ整備投資で経済回復は可能 (元運輸省技官・望月規行氏)

■平成 24 年 4 月 9 日号 (第 1298 号)

【主な記事】

- ・産業港湾課 産業政策の視点で対応＝国際バルク、海外港湾分野
- ・24 年度予算成立 港湾公共 2,884 億円で 10.7% 増＝国際戦略、東京港に 280 億円等
- ・港湾局 内閣府の最大津波、局の予測値超える＝三大湾などは重点防御へ
- ・国交省港湾局 4 月 6 日付人事＝災対室長に長田氏
- ・港湾局 4 月 1 日付人事 (事務官)
- ・中部空港 第 2 滑走路検討へ＝関係機関と今後調整
- ・宮城県 仙台塩釜・石巻・松島港＝今夏に地方審、統合港湾計画の手続き
- ・宮古港 竜神崎防波堤の復旧＝今年度にケーソン 2 函
- ・白老港 11m 岸壁液状化対策＝国内物流ターミナル整備事業
- ・三番瀬 今年度を実施設計へ＝千葉県市川漁港整備
- ・岩国港臨港道 橋梁下部、上部工を促進＝装束～新港地区、27 年度暫定供用へ
- ・鹿児島港 ケーソン製作を開始＝フェリー B 改良事業、地盤改良が進捗
- ・三河港 神野地区で航路・泊地＝北防波堤着工へ諸準備
- ・四日市港 P38～47 橋脚を工事公告＝霞 4 号幹線、運河部も順次実施

- ・国交省 海洋政策懇談会、具体的施策打出す＝遠隔離島や海洋観光振興
- ・港湾局 リサイクル技術指針改訂＝対象項目の追加、再評価
- ・各社トップの入社式訓示（五洋、東亜、東洋、若築）
- ・観光立国推進基計閣議決定＝クルーズの航路開発等促進

■平成 24 年 4 月 2 日号（第 1297 号）

【主な記事】

- ・港湾局が新組織 産業港湾課、海洋・環境課＝バルクや海洋政策を重視
- ・港湾局 4 月 1 日付人事 復興事務官に水谷氏
- ・国土交通省 横浜埠頭（株）に指定書＝外貿埠頭の管理運営
- ・相馬港 ケーソン製作据付に着手＝沖防波堤の災害復旧工事
- ・仙台空港 活性化検討業務を委託＝宮城県、国の市場調査に対応
- ・京浜港 24 年度取り組み方針＝関東地整、物流高度化協議会
- ・酒田港 ガントリー増設＝13 列対応を発注へ
- ・水島港臨港道路 新年度に渡河部橋脚追加＝玉島側アプローチも着手
- ・舞鶴港 長期構想プランまとめ＝24 年度に計画改訂、高速輸送網着手
- ・長崎港 国際シームレス物流＝戦略会議が県に提言
- ・国交省港湾局 港湾域で風力発電受入＝24 年度にマニュアル、港湾機能と共生へ
- ・東亜建設工業 油圧ハンマ、打撃音提言開発＝先端部を囲い高精度施工
- ・東洋建設 インドネシア港湾工事受注＝約 78 億円で航路・泊地
- ・港湾局 アセアンの港湾保安＝行動計画案を作成
- ・北九州市ら 潮流発電実証試験＝ダリウス型水車方式

■平成 24 年 3 月 26 日号（第 1296 号）

【主な記事】

- ・民主党港湾振興議連、上海港等視察
 - ・長崎～上海クルーズ体験＝クルーズ施策の充実必要
 - ・周・上海市副主席と会談＝日中の協力・連携で発展を
 - ・コンテナ取扱高世界一の上海港＝洋山深水港は更に拡張
- ・東京港特集 中防外側コンテナターミナル着工＝機能強化、今後は大井青海再編も
- ・輪島港 第 6 防波堤の築造工事＝金沢港空、軟弱地盤対策も検討
- ・木更津港 設計検討や環境調査＝吾妻地区緑地と旅客船
- ・長崎港 大型クルーズ 3 バース＝小ヶ倉柳に高速船物流基地
- ・北九州港 響灘東臨港橋梁、24 年度に工事完了＝今夏に主桁の海上架設
- ・伊万里港 来年度に詳細設計＝七ツ島の臨港道路橋

- ・海産研 漁業協調の在り方で提言＝洋上風力等へ参画促す
- ・五洋建設ら コンクリート塩害防止材開発＝表面塗装で防食効果
- ・在上海日系企業と意見交換＝民主党港湾議連
- ・水産庁 災廃物で漁業振興に＝実証実権 増殖礁等に活用
- ・堺泉北港 基幹的防災拠点供用へ＝災害応急活動の核施設

■平成 24 年 3 月 19 日号 (第 1295 号)

【主な記事】

- ・国交省 新たな港湾政策検討へ＝年内まとめ、懇談会で議論開始
- ・港湾局 第 48 回港湾分科会開催＝7 港の一部変更等了承
- ・港湾局 港湾の被災から復興まで＝東日本大震災、被災記録と方策まとめ
- ・ミャンマーの港湾開発 チョウ総裁が講演＝日本の支援に期待
- ・R S O 浚土等で海岸防護施設＝24 年度新規研究テーマ
- ・釧路港 新西防波堤の延伸を促進＝西港区、本体製作・据付工事
- ・仙台空港 あり方検討委最終会＝施設整備の方向性提示
- ・金沢港 御供田ふ頭機能強化＝2 レーン目の工事実施
- ・那覇空港 第 5 回環境保全委開催＝増設滑走路、今夏にも準備書縦覧
- ・下田港 W T O で堤頭函製作＝開口部取組も準備
- ・田子の浦港 W T O で航路・泊地浚渫＝計画水深、来年度でほぼ達成
- ・日建連海洋開発委 羽田空港の容量拡大策＝E 滑走路、国際貨客ターミナル等
- ・埋浚協会 港湾技術報告会開催＝東北地整津田部長、復旧・復興と今後課題
- ・埋浚協会 粘り強い構造案示す＝技術部会報告、裏込めや抑止杭で
- ・経産省 福島沖に洋上風力発電＝丸紅らが実証研究開始

■平成 24 年 3 月 12 日号 (第 1294 号)

【主な記事】

- ・バルク戦略港、コンビナート防災＝24 年度から取組重点へ
- ・港技コンサル輪湖会長、大震災 1 周年に想う＝神戸港復旧との違い
- ・地方を守る会 国出先廃止に反対＝地整局の役割必要
- ・釜石港 湾口防波堤の本体工着手＝災害復旧、HB ケーソンを製作
- ・神奈川県 修正案を議会報告＝石油コンビナート防災
- ・新潟港 第 2 西防波堤築造など＝ゼロ国債工事を発注
- ・津松阪港海岸 栗真町屋地区、24 年度現地着工＝耐震化や嵩上工、今後実施設計作業に
- ・別府港海岸 「上人ヶ浜」に 24 年度着工＝「北浜 1」地区も現地に
- ・下関港海岸 長府・壇ノ浦第 1 工区詳細設計＝第 2 工区は本体工へ
- ・土木学会 東日本大震災 1 周年記念シンポ開催＝巨大災害と社会の安全
- ・海洋政策研 北極海政策推進で提言＝統括機関や物流対応等
- ・国交省 専門技術、日越セミナー開催＝日本企業がプレゼン
- ・山本土木学会会長、今後の取組み方針示す＝信頼につながる国土づくり

■平成 24 年 3 月 5 日号 (第 1293 号)

【主な記事】

- ・防災部会開催 全国防災への取組議論＝5月にも総合的方針策定
- ・吉田副大臣 首都圏等は更に検討＝最大クラス、防災対策強化
- ・APEC コンテナ輸送可視化等テーマ＝自然災害時、港湾の役割と活用
- ・酒田港 ゼロ国債で防波堤を促進＝静穏度対策、ケーソン据付け2件
- ・横浜港 南本牧MC3貸付金＝ガントリー整備に着手
- ・茨城港 日立港区第3ふ頭着手＝埋立護岸工事費を計上
- ・関東協議会を設立へ＝港湾BCP協働委員会
- ・徳山下松港 外周護岸本体工調達へ＝新南陽処分場HBケーソン14函
- ・徳島小松島港 航路・泊地浚渫準備＝マイナス8.5m複合一貫輸送ターミナル
- ・那覇港 来年度に上部工追加＝浦添ふ頭臨港道路、橋脚工も進捗へ
- ・国際沿岸WS 海と共生した津波防災＝復旧・復興への取組議論
- ・メタンH フェーズIIの成果まとめ＝24年度末海洋産出試験
- ・JCI 東日本大震災復旧・復興へ提言＝新たな構造形式必要
- ・国交省 総合評価落札方式＝能力型、技術型に分類

■平成24年2月27日号（第1292号）

【主な記事】

- ・北極海航路 1航路1億円コスト減＝北海道は中継基地港にも
- ・港湾局 ミャンマーで港湾調査＝案件形成や参入FS
- ・国土交通省室井政務官 金沢港視察、意見交換＝日本海側拠点港、関係者一丸で成功を
- ・港湾局 全国防災の具体方策＝防災部会で検討へ
- ・国交省 災害復旧着工式典＝被災港で順次開催
- ・金沢港 西防波堤ケーソン製作等＝大野地区、4次補正で3件入札
- ・函館空港 地下道の耐震補強工＝検討委員会で工法選定
- ・関東地整 港湾の地震津波対策＝東京湾でレベル2防護
- ・釧路港セミナーを開催＝バルク港湾など説明
- ・水島港バルク 最終目標へ港計調査等＝第一段階は24年度に変更
- ・中城湾港 泊地浚渫作業が順調＝来年度も継続の予定
- ・高松港 コンテナふ頭2バースに＝新バルクBも供用へ
- ・東亜建設工業 津波堆積土の分級工法＝5月にも実証試験、減容化し再利用へ
- ・港湾局 コンテナ物流改革取組評価＝フィーダー機能強化確認
- ・下関港 東京セミナー開催＝東アジア物流の架橋に

■平成24年2月20日号（第1291号）

【主な記事】

- ・室井政務官 北九、下関、博多港視察＝日本海側拠点港、要望踏まえ意見交換
- ・独法港空研 沿岸部津波高、約5分で推定へ＝日・チリ共同研究プロジェクト
- ・国交省 被災地工事を円滑化＝復興JV、実勢価格反映
- ・関東地整 津波対策案示す＝東京湾、相模湾
- ・近畿の地震・津波対策 基本方針の骨子（案）＝大阪湾、紀淡海峡外側
- ・川崎港 市が受託区間で詳細設計＝臨港道、東扇島水江町線整備
- ・千葉東海岸検討委員会＝津波対策、整備イメージなど提示
- ・新千歳空港 耐震対策で地盤改良＝横断函渠の補強工事も
- ・防波堤の津波対策 名古屋港高潮堤は嵩上げ＝御前崎（西）は被覆材の補強
- ・鹿児島県 鴨池～中央港区、臨港道路調査へ＝海上架橋ルートが中心
- ・佐世保市 ジャケット製作＝三浦地区、多目的国際ターミナル整備
- ・海洋再生エネ 利用促進へ制度整備方針＝実証試験の候補地調査も
- ・四国地整 地震・津波対策基本（案）＝防災・減災機能強化等
- ・水産庁 次期漁整長計策定へ＝全国防災で耐震化等
- ・東京ゲートブリッジ 供用開始式典開催＝港湾物流の効率化に寄与

■平成24年2月13日号（第1290号）

【主な記事】

- ・【特集】東京ゲートブリッジ供用
- ・4次補正 港湾関係事業費147億円＝全てゼロ国予算に配分
- ・国際コンテナ戦略委開催＝検討状況報告書
- ・新関西空港会社、4月に設立＝定款案等審議
- ・潜水協会 技術継承、地位向上大事＝新専門業種として追加を
- ・新潟港 4次補正で潜堤延伸整備＝西海岸、護岸築造と養浜工も
- ・枝幸港 南防波堤を改良＝越波等で嵩上げ
- ・伏富港で地港審＝岸壁耐震化など
- ・北九州港 田ノ浦地区、WTOで岸壁改良＝鋼管矢板を連続打設
- ・舞鶴港 処分場用地、潜堤工を公告＝前島地区複合一貫ターミナル
- ・広島港 廿日市地区、航路・泊地浚渫＝来年度現地調査等
- ・福岡市 博多港振興セミナー＝日本の拠点港目指す
- ・名港管理 名古屋港懇談会開催＝国際産業ハブ港育成
- ・水産庁 被災漁港の復旧促進＝老朽化や耐震対策強化
- ・東亜建設工業 法面浚渫グラブ開発＝勾配に合わせて浚渫
- ・CNAC 全国フォーラム開催＝「人と海のつながり」

■平成24年2月6日号（第1289号）

【主な記事】

- ・国交省港湾局 国際バルク政策を重点＝コンビナート防災も強化
- ・室井政務官 浜田港、境港を視察＝知事らと意見交換、整備の重要性確認
- ・津波に強い地域づくり＝日本・チリ、共同研究スタート
- ・港湾局 クルーズ需要に対応＝ソフト、ハード対策の強化へ
- ・八戸港 大型工事4件を年度内に＝防波堤復旧、ケーソン撤去・据付等
- ・福井港 5基目の離岸堤に着手＝直轄海岸、護岸地盤改良も本格化
- ・小名浜港セミナー＝復旧状況やバルク説明
- ・北九州港 新門司沖土砂処分場、来年度アセス手続き＝土質調査等の実施も検討
- ・大阪港 来年度事業化検証＝マイナス16m岸も視野に
- ・宇部港 マイナス13m泊地の浚渫へ＝25年度事業で完了予定
- ・沖縄県 本部港でマイナス9m岸を促進＝今年度末に暫定供用開始
- ・関東地整 東扇島で防災訓練実施＝首都直下地震等を想定
- ・五洋建設 潜水作業の安全確保＝水中ポジショニングシステムを開発へ
- ・広島県 東京でポートセミナー＝港の利便性向上施策
- ・沖縄県 海洋温度差発電事業＝世界初の実証試験へ
- ・エネ庁 MH開発で中間評価＝来年度海洋産出試験
- ・OCDI 国際人材養成シンポ＝海外事業展開に重要

■平成24年1月30日号（第1288号）

【主な記事】

- ・港湾関係団体新春賀詞交歓会 港湾の役割に期待と熱気＝復旧・復興競争力強化、国会議員ら多数参加
- ・港湾都市協役員・幹事会議 港湾の重要性を再確認＝港湾通じて元気と活気
- ・民主党港議連 東京港を視察＝東京ゲートブリッジ、大井CT
- ・小名浜港 航路部橋脚2件が手続き＝東港地区、柱頭部までを3ヶ年で
- ・室蘭港 新年度も鋼管矢板等＝築地9m西岸壁改良
- ・福島県 港湾計画変更の準備＝小名浜港バルク戦略港
- ・新潟港 新年度に運営会社公募＝東港、コンテナターミナルを民営化
- ・清水港新興津 25年度供用へ事業進捗＝泊地浚渫、追加工事も公告
- ・福山港バルク 港計一部変更作業に＝航路増深、土砂処分用地
- ・浜田港 福井地区臨港道路＝24年度新規事業に
- ・大分港 西大分地区、複合一貫ターミナルを改良＝泊地拡大、耐震岸確保
- ・ポート・オブ・ザ・イヤー2011 船川港を選定＝耐震対応で特別賞4港
- ・環境省 四次環境基計を審議＝年度内に策定へ、重点分野等議論
- ・国交省 国際コンテナ戦略港活用を＝マークス等訪問、国がトップセールス

■平成 24 年 1 月 23 日号 (第 1287 号)

【主な記事】

- ・重要港湾管理者主幹課長会議 24 年度予算案等を説明＝25 年度要求への準備も
- ・港湾局 必要事業に厳選を＝新たな政策展開も
- ・山縣港湾局長 港を通じて国を元気に＝関係者一体の取組み必要
- ・港湾局 港湾に風力発電導入＝新年度にマニュアル公表
- ・伏富港 新湊コンテナ T 岸壁延伸＝富山県、3 万 t 級 2 隻同時接岸
- ・伏富港 新湊地区の海岸事業＝人工リーフと潜堤整備
- ・山形県 鼠ヶ関港の西防波堤＝ケーソン据付は 25 年度
- ・関東地整 2 月に基本方針策定＝首都圏港湾の津波対策
- ・徳山下松港 マイナス 19m の公共石炭 B 等＝バルク戦略港、24 年度中に改訂計画
- ・山口県の国際バルク 全国初、連携協議会発足＝共同配船への取組開始
- ・志布志港 マイナス 17m 公共バース等検討＝バルク戦略港、25 年度概算要求へ準備
- ・関東地方整備局 東京ゲートブリッジ完成＝物流効率化、コスト削減に
- ・大林組・国際航業 秋田市沖で F S 調査＝着床式洋上風力発電
- ・J W P A 新年賀詞交換会 風電飛躍の年に＝固定買取制、内容の早期策定を
- ・全国海の再生 第 6 回海・陸を一体的＝地域間の連携、協働を

■平成 24 年 1 月 16 日号 (第 1286 号)

【主な記事】

- ・前田国交省 港湾の国際競争力強化＝新春会見、戦略港、民営化促進
- ・政務三役 日本再生正念場の年＝職員向け年頭挨拶、復旧・復興に全力
- ・港湾局 出来高部分払、更なる改善策等＝作業船対応も検討へ
- ・港湾局 発注者支援業務、複数年度契約採用＝民間参入の門戸拡大
- ・新日鉄 災害復旧工事に活用＝改質津波堆積土
- ・新潟港 第 2 西防波堤上部工へ＝北陸地整、土砂処分場は現況調査
- ・千葉県 東沿岸海岸保全計画＝防護施設の高さ提示
- ・千葉港 来年度に護岸基礎工＝みなと緑地・旅客栈橋
- ・清水港 岸壁大型化や航路増深＝地港審了承、国際バルク戦略に対応
- ・博多港 窪地利用で浚渫促進＝中央航路やアイランド
- ・大阪港 航路の増深拡幅、第 3 工区も手続き＝第一段階の目標達成へ
- ・舞鶴港 土砂処分で浅場造成＝潜堤式の土留護岸
- ・常滑港 マリーナを計画＝地港審了承、りんくう地区
- ・エネ庁 海洋産出試験に着手＝メタンハイドレート、2 月に事前掘削へ

- ・日伊港湾セミナー開催 JICA研修生、同窓会も設立、交流や情報交換
- ・企業トップの年頭所感（五洋建設、東亜建設工業、東洋建設、若築建設）

■平成24年1月2日号（第1285号）

【主な記事】

- ・新春のご挨拶
前田武志国土交通大臣／山縣宣彦港湾局長／長田太航空局長
- ・24年度港湾予算 前年度比10%増を確保＝安全安心、成長戦略、役割の重要性高まる
- ・港湾局人事 近畿副局長に田邊氏＝振興課長に高田氏
- ・国交省 東京圏のバックアップ＝機能分担など検討
- ・航空局予算 3181億円、対前年度2.6%減＝首都圏空港機能強化等
- ・羽田空港 津波避難行動計画（案）＝ハザードマップも作成
- ・福島空港 空港を核に復興支援＝航空局が方策検討
- ・宮城県 仙台空港民営化＝周辺地域も開発
- ・海事局 浮体式洋上風力の研究＝補正予算で調査促進へ
- ・環境省 重要海域抽出作業＝生物多様性、海洋保護区充実
- ・国交省 海洋基本計画を見直し＝政策懇の初会合
- ・北陸3港利用促進セミナー＝災害に強い物流ネットワーク
- ・内閣府 「総合特区」を指定＝グリーンアジア国際戦略等
- ・環境未来都市選定＝再生可能エネ計画等